

Web版

# パーツリスト

一般的な補修作業などで必要となる部品を現場作業向けに見やすく編集したパーツリストです。

主機前 電磁クラッチ

**SD825N**

**SD1000N**

**SD1000W**

最終編集日 2009年4月18日

書類番号 1263

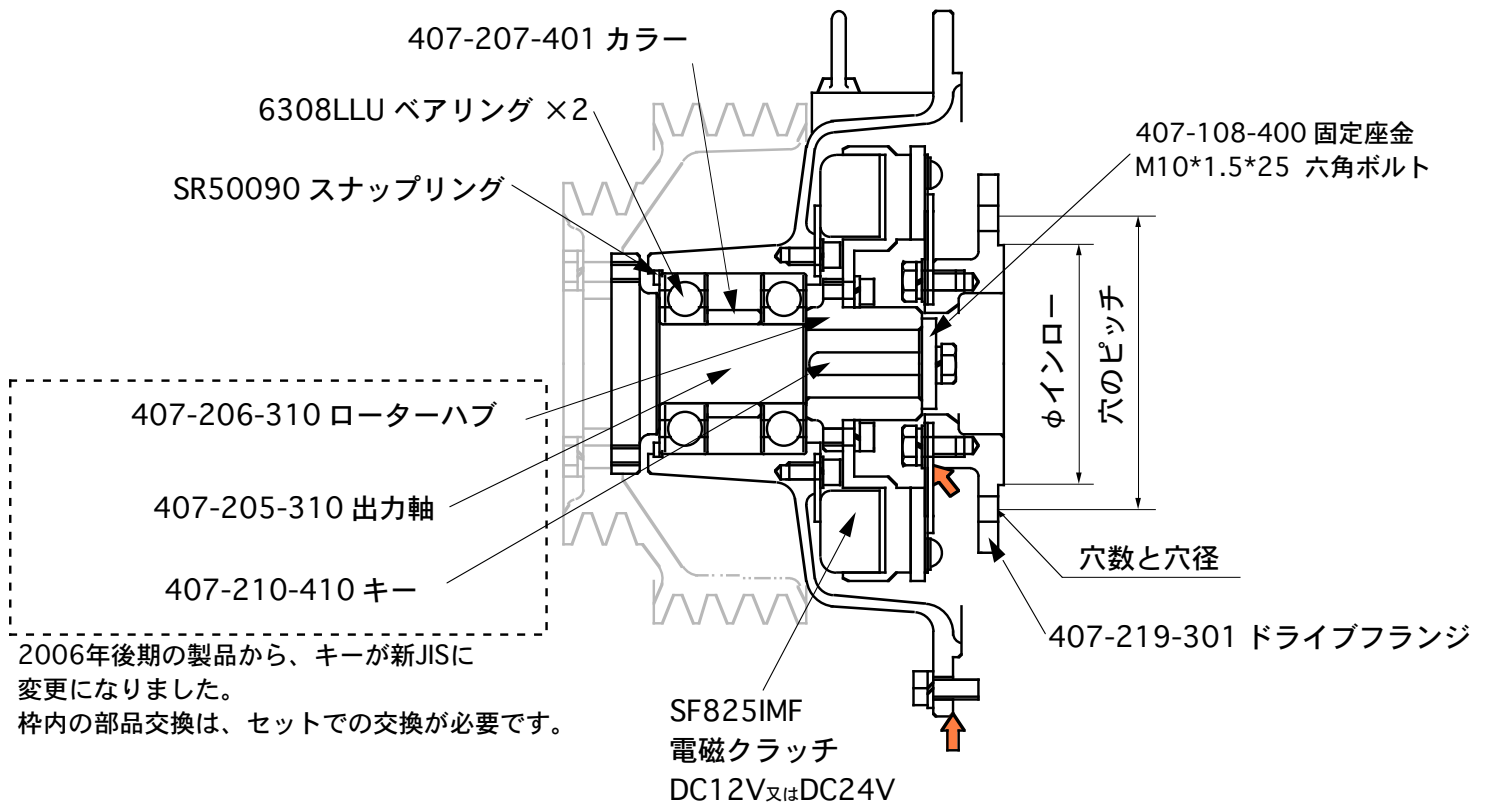
最新のものは、下記URLからダウンロードしていただけます。

トップページから「技術資料」をクリックしてください

<http://www.yamamotokiko.co.jp>

本紙に記載されている製造年（例：2002年製まで）は、個別の仕様や納入時期の違いにより若干前後している場合がありますので目安とお考えください。

山本機工株式会社

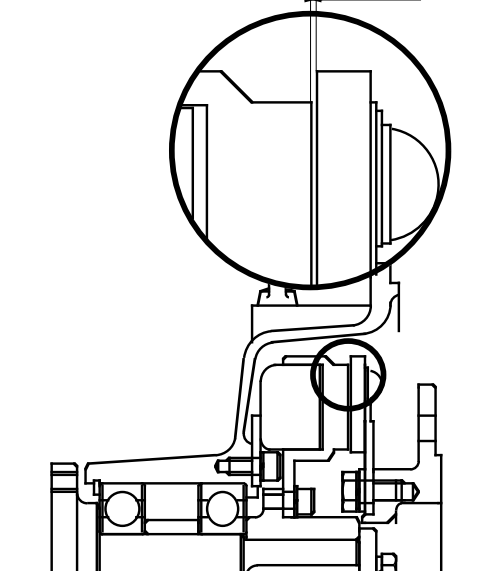


2004年製までは、ベアリングが片側シール。  
出力軸前端のグリスニップルよりグリス封入。  
補用は上図部品で互換あり。

### スキマ調整要領

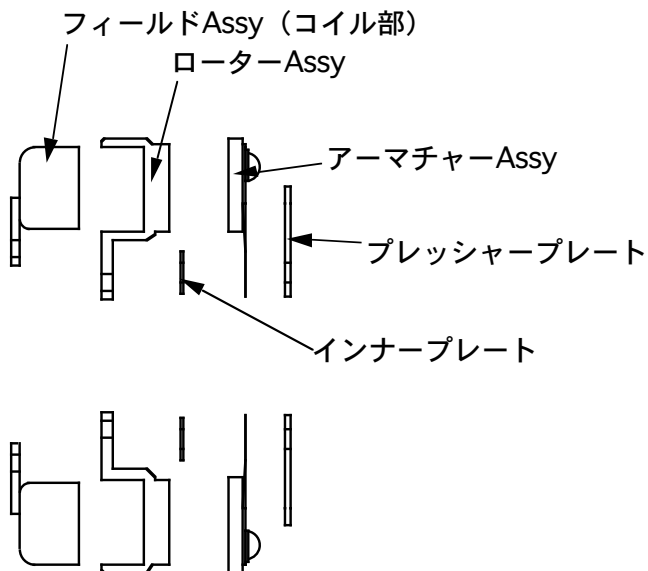
↑箇所

0.6mm

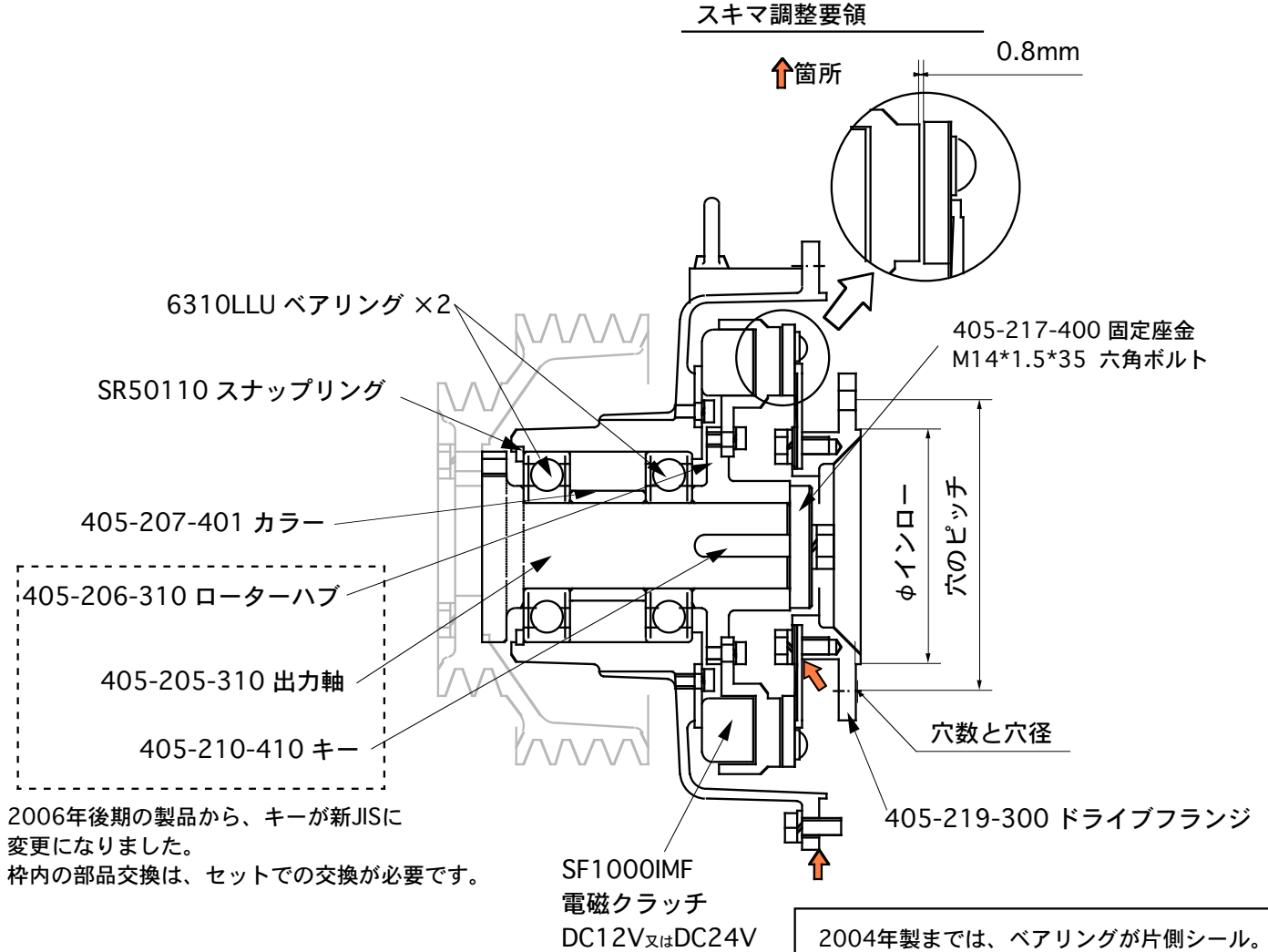


### 電磁クラッチ各部名称

単品販売はいたしておりません。



### スキマ調整要領



2006年後期の製品から、キーが新JISに変更になりました。  
枠内の部品交換は、セットでの交換が必要です。

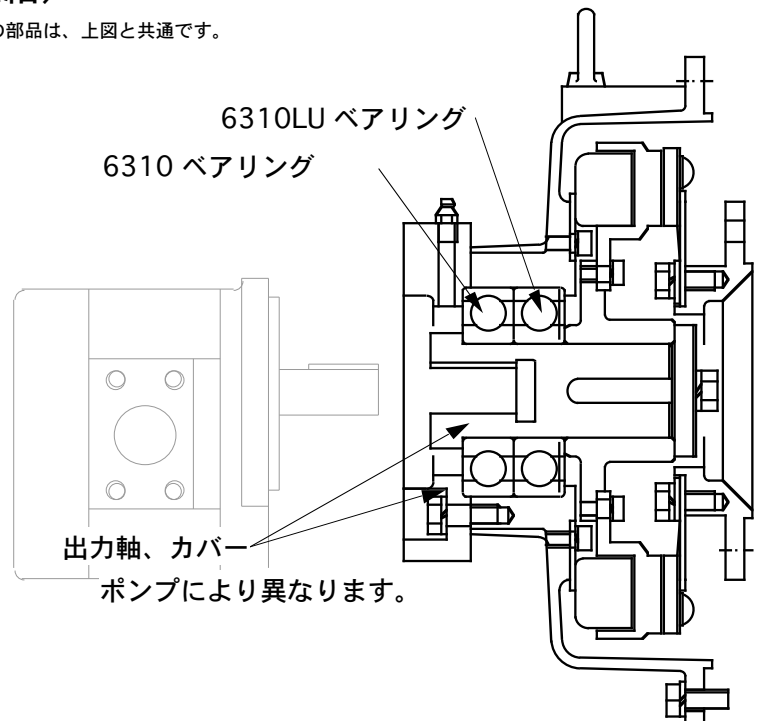
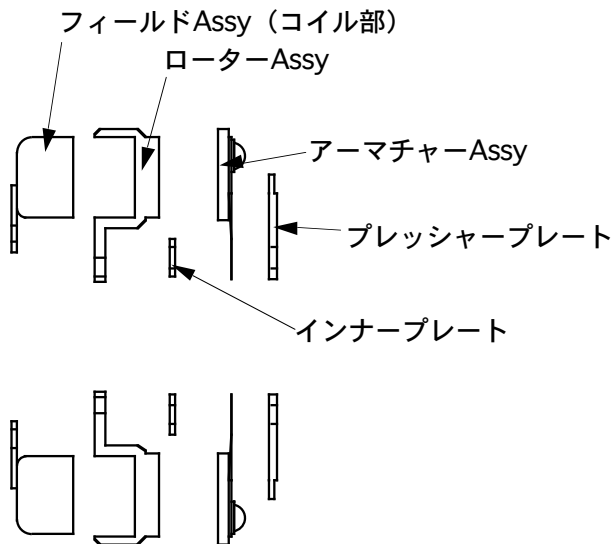
2004年製までは、ベアリングが片側シール。  
出力軸前端のグリスニップルよりグリス封入。  
補用は上図部品で互換あり。

## SD1000NP (ポンプ直結)

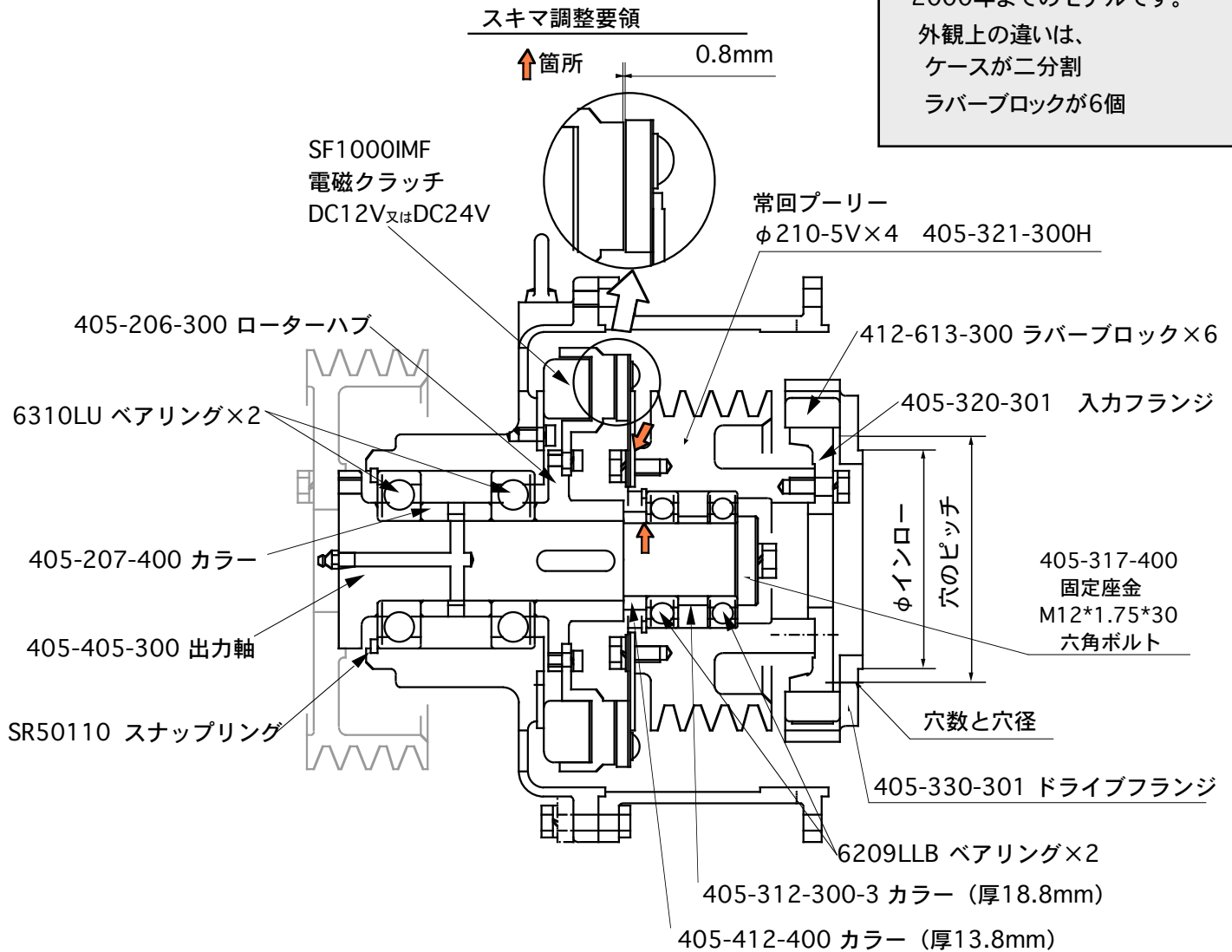
図示以外の部品は、上図と共通です。

### 電磁クラッチ各部名称

単品販売はいたしていません。



2000年までのモデルです。  
 外観上の違いは、  
 ケースが二分割  
 ラバーブロックが6個

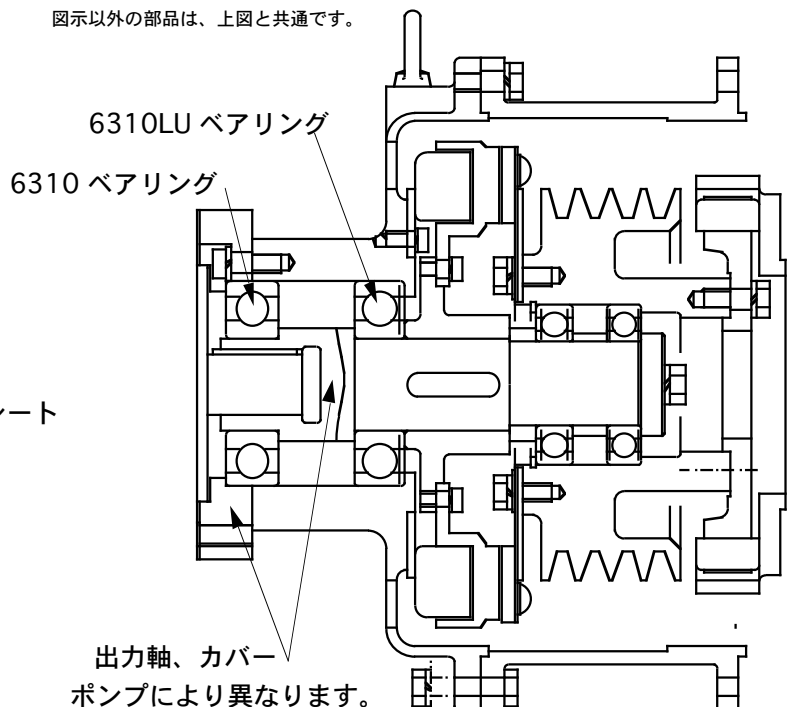
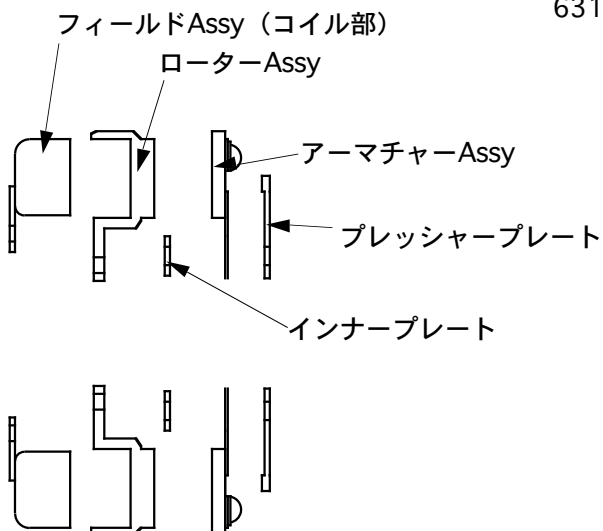


## SD1000WP (ポンプ直結)

図示以外の部品は、上図と共通です。

### 電磁クラッチ各部名称

単品販売はいたしていません。

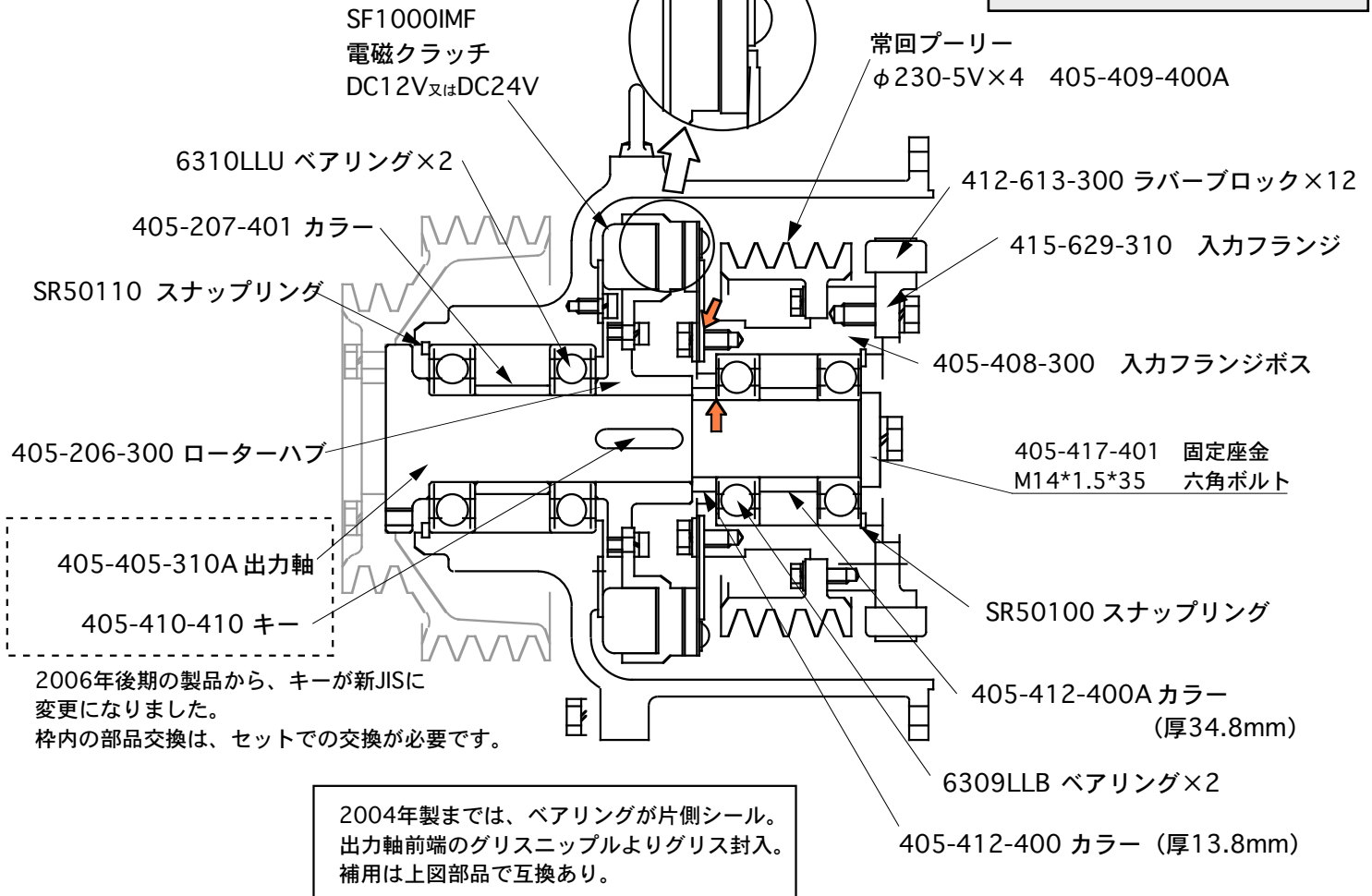


2001年以降のモデルです。  
 外観上の違いは、  
 ケースが一体もの  
 ラバーブロックが12個

### スキマ調整要領

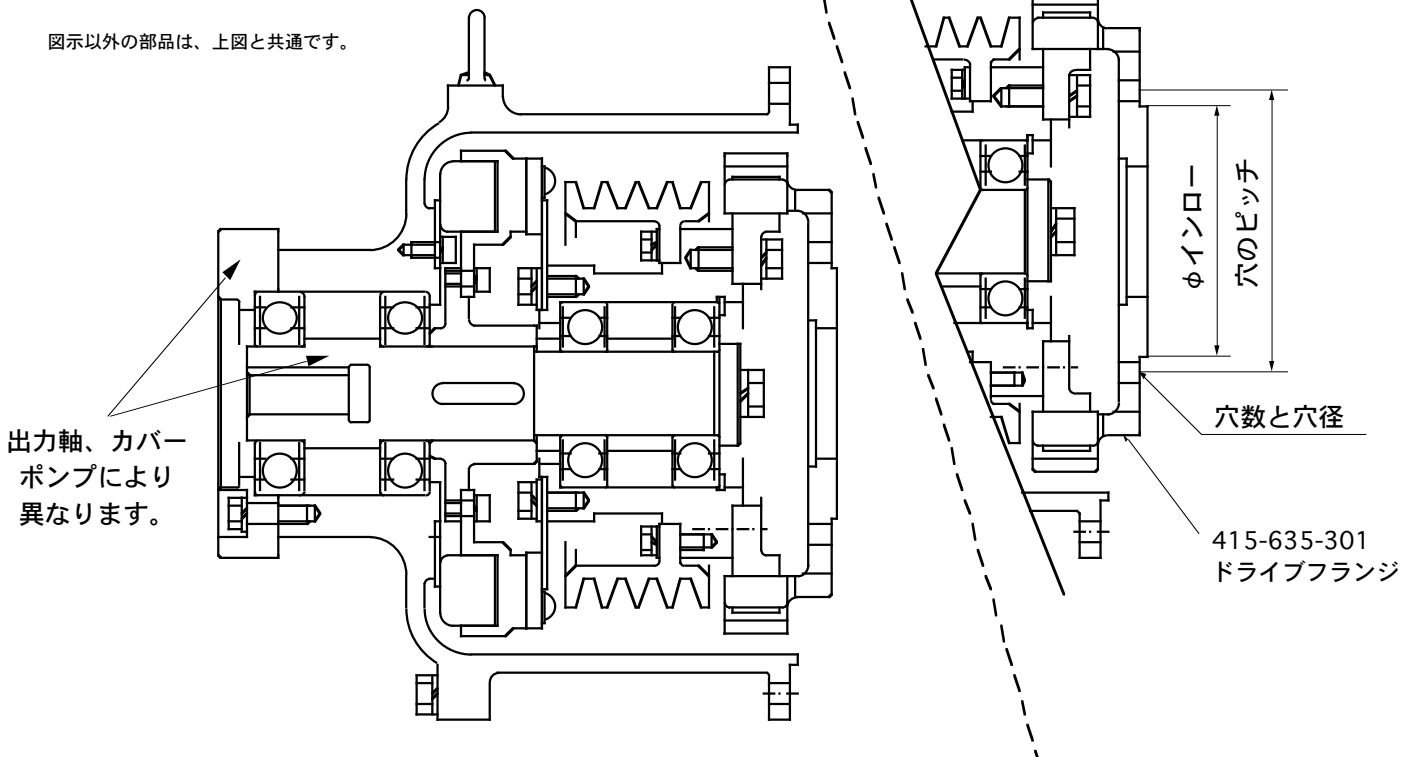
↑箇所

0.8mm



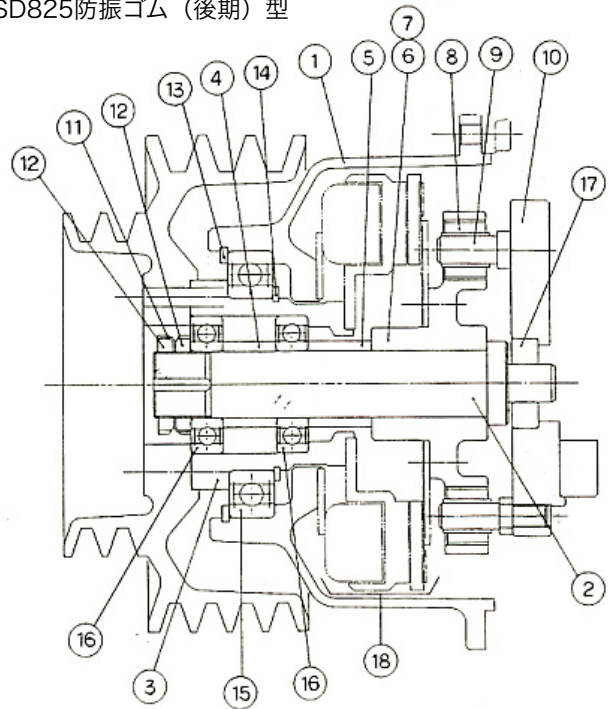
## SD1000WP (ポンプ直結)

図示以外の部品は、上図と共通です。



SD825防振ゴム（後期）型

前ページまでに記載のない1983年以前のモデルSD650/825/1000については、  
下表のゴムカップリング及びベアリング以外の補用品販売を終了しております。



形式	カップリング	
SD650	防振ゴム (後期型)	ベアリング 6307LLB×2個 6006SR×2個 防振ゴム 406-128-400×4または6個
SD825	防振ゴム (前期型)	ベアリング 6207LLB×2個 6018LLB×1個 6204LLB×1個 防振ゴム 補用販売終了
	防振ゴム (後期型)	ベアリング 6207LLB×2個 6018LLB×1個 6304LLB×1個 防振ゴム 406-128-400 ×4または6個
	ラバー ブロック	ベアリング 6308LLB×2個 6007LLB×2個 ラバーブロック 412-613-300 ×4または6個
SD1000	防振ゴム (前期型)	ベアリング 6310LLB×2個 6208LLB×2個 6214LLB×1個 防振ゴム 補用販売終了 6206LLB×1個
	防振ゴム (後期型)	ベアリング 6310LLB×2個 6208LLB×2個 6214LLB×1個 防振ゴム 406-128-400 ×8個 6206LLB×1個

防振ゴム (前期型)	<p>防振ゴム (クラッチ側 フランジに圧入)</p> <p>トルクピン (エンジン側 フランジに立て込み)</p> <p>鉄 ゴム 外径φ31</p> <p>外径φ14</p> <p>ネジ M12×1.25</p>
防振ゴム (後期型)	<p>鉄 ゴム 外径φ31</p> <p>ネジ M12×1.25</p>
ラバー ブロック	<p>ゴム製</p> <p>35mm</p>